

- ✓ 救急現場で起こる事故を未然に防ぎたい
- ✓ 若手職員にノウハウを継承したい
- ✓ 隊のメンバーとヒヤリハットを共有したい

新刊

＼ そんな救急隊の希望を叶えるために /

★察知する能力・解決する能力 ★予防する能力 を向上させる新教材が登場！

K=危険 Y=予知 T=トレーニングで、複雑多様化する救急事案に対応する力を磨く

救急 KYT シート

冊子・事例シート・KYT記入シートが
全て入って1セット！

- 兵庫県西宮市消防局 編著
- A4判 (クリアケース入り)
- 冊子40頁+事例シート25枚+記入シート1枚
- 定価 (本体1,800円+税)
- ISBN978-4-8090-2470-2 C3030 ¥1800E

① 冊子 (解説+危険例)

3 KYTシート活用方法

救急隊や複数人での実施方法

- リーダーと責任役を決定する。
- リーダーはKYTのルールを説明する。

KYTルール

- 危険察知
 - 「良い悪い」で危険を批判しない
- 危険察知
 - 思うがままになんでも発言する
- 大気呼吸
 - どんな内容でもいふので、どんな意見も出す
- 保護着脱
 - 他者のアイデアに使用、加工して良い意見にする
- 決定実施
 - 「FUCKしない」という表現を使用しない
- 具体的な危険
 - より具体的な表現に言い換える

第1ラウンド 現状把握

3 リーダーは、メンバーに事例シートを見せながら状況説明を説明し、「どんな危険ストーリーが考えられますか」と問いかける。ただし、シートの写真はイメージであり、間違いではないことを認める。

4 メンバーはシート内の本人(職員)になりきって、思い付いた危険をできるだけ具体的に発言していく。リーダーはなるべく全員が発言できるように問いかけ、多くの危険ストーリーを思い付けさせるように誘導する。

KYTにおいて、どの作業が最も重要で、しっかりと危険を察知し、できるだけ多くの危険ストーリーを一人一人が提案できることが重要である。

20 救急車内へ傷病者を車内収容しようとしています。

(危険ストーリー例)

救急車内で傷病者を収容しようとした際、車内が狭いため、ストレッチャーの位置が車内の奥まで移動していたので、救急隊員がストレッチャーに接触し、怪我をする。

ストレッチャーの位置が車内の奥まで移動していたので、ストレッチャーの奥側にストレッチャーの足が引っかかって、ストレッチャーが倒れる。

ストレッチャーの奥側にストレッチャーの足が引っかかって、ストレッチャーが倒れる。

ストレッチャーは救急隊員の手で、主にストレッチャーの奥側に倒れることがある。ストレッチャーの奥側に倒れると、ストレッチャーの足が引っかかって、ストレッチャーが倒れる。ストレッチャーの奥側に倒れると、ストレッチャーの足が引っかかって、ストレッチャーが倒れる。

② 事例シート

2 車内に乗り込もうとしています。

この場面での危険ストーリーを想像してください。

KYTルール

- 危険察知
 - 「良い悪い」で危険を批判しない
- 危険察知
 - 思うがままになんでも発言する
- 大気呼吸
 - どんな内容でもいふので、どんな意見も出す
- 保護着脱
 - 他者のアイデアに使用、加工して良い意見にする
- 決定実施
 - 「FUCKしない」という表現を使用しない
- 具体的な危険
 - より具体的な表現に言い換える

25の事例を写真で掲載しているので、リアルに起こりそうな危険をイメージできる

KYTの活用方法と、救急現場の危険例が分かる！

③ KYT記入シート

記入シートに書き込んで危険因子を整理できる！

※シートはWebサイトからダウンロードすることが可能

KYT記入シート

1. 状況説明 (危険ストーリー(本題))

1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		

2. 本題説明 (提案された危険ストーリー(本題))

3. 対策案 (提案された対策案(本題))

4. 評価 (提案された対策案(本題)の危険度を評価)

さらに

救急KYTシートの使い方が
動画で分かる！

実践方法▶



研修事例▶



チーム研修にも **個人勉強** にも手軽に利用できます

① 現状把握

事例シートを見て、
現場に潜む
危険ストーリーを
考える



② 本質追究

特に重要な
ストーリーを
選ぶ



③ 対策樹立

ストーリーの
予防策や
防止策を考える



④ 目標設定

重点実施項目
を定め、
行動目標を
定める



全25事例を収録!

指令から傷病者接触までの活動

- ・指令を聞き、車両に向かう
- ・車両に乗り込む
- ・車内で隊員が資器材を準備
- ・車両から降りてストレッチャーを準備
- ・ストレッチャーを押しながら向かう
- ・傷病者宅に入る
- ・交通事故現場で傷病者に接触

- ・エアストレッチャーで傷病者を搬送
- ・チェアポジションで傷病者を搬送
- ・一人暮らしの傷病者宅を出る
- ・傷病者の所持品を確認
- ・共同住宅の廊下をストレッチャーで移動
- ・ストレッチャーで傾斜地を移動
- ・リアハッチを開閉
- ・救急車内へ傷病者を収容

傷病者接触から車内収容までの活動

- ・住宅内で倒れている傷病者に接触
- ・風呂場の浴槽内から意識障害の傷病者を徒手で搬送
- ・背負い搬送で傷病者を搬送
- ・布担架を使ってストレッチャーまで傷病者を搬送
- ・スクープストレッチャーで傷病者を搬送

車内収容後から病院引揚後の活動

- ・傷病者観察を実施
- ・傷病者情報や概要を聴取
- ・ストレッチャーで胸骨圧迫・静脈路確保・気管挿管を実施
- ・ストレッチャーに乗せた傷病者を降ろす
- ・傷病者を医療機関に引き継いだ後、次の出勤準備

西宮市消防局の
PR動画が
見られます



書籍情報の
詳細はこちら!

最新情報は
こちらから!

東京法令

検索



東京法令出版
公式Twitter
アカウント

@tokyo_horei

申
込
書

救急KYTシート

定価(本体1,800円+税) [コード13461]

申込

部

(送料は実費、2部以上はサービス)

貴社の個人情報に関する下記取扱いに同意し、上記のとおり申し込みます。 令和 年 月 日

お取扱者(自署) (TEL - -)

お届け先住所

団体名 部署名 公用 私用

個人情報の取扱いについて 東京法令出版株式会社 個人情報保護管理者 専務取締役
 ★お客様の個人情報は、契約の履行及び関連製品の案内に利用します。
 ★本人の同意がある場合又は法令に基づく場合を除き、第三者に提供しません。
 ★利用目的の達成に必要な範囲内で取扱いの一部を委託することがあります。
 ★本人からの個人情報の利用目的の通知・開示・内容の訂正・追加又は削除・利用の停止・消去の求めに応じます。
 ★個人情報に関するご照会・お問い合わせ等は、弊社窓口(TEL026-224-5441、privacy@tokyo-horei.co.jp)までご連絡ください。
 ★個人情報の提供は任意ですが、提供いただけない場合は、お申込みをお受けできないことがあります。

この申込書は、このままFAXで下記宛にお送りください。

■申込先

東京法令出版株式会社 受注センター

〒381-0022 長野市大豆島3111

FAX 0120-338-923

TEL 0120-338-272

(携帯電話からもお申込みできます。)

会社 使用 欄	団体コード		<input type="checkbox"/> 納品済	入力 印	
	得意先コード		<input type="checkbox"/> 請求済	チ ック	
在庫	ラベル	〒	<input type="checkbox"/> 領収済		